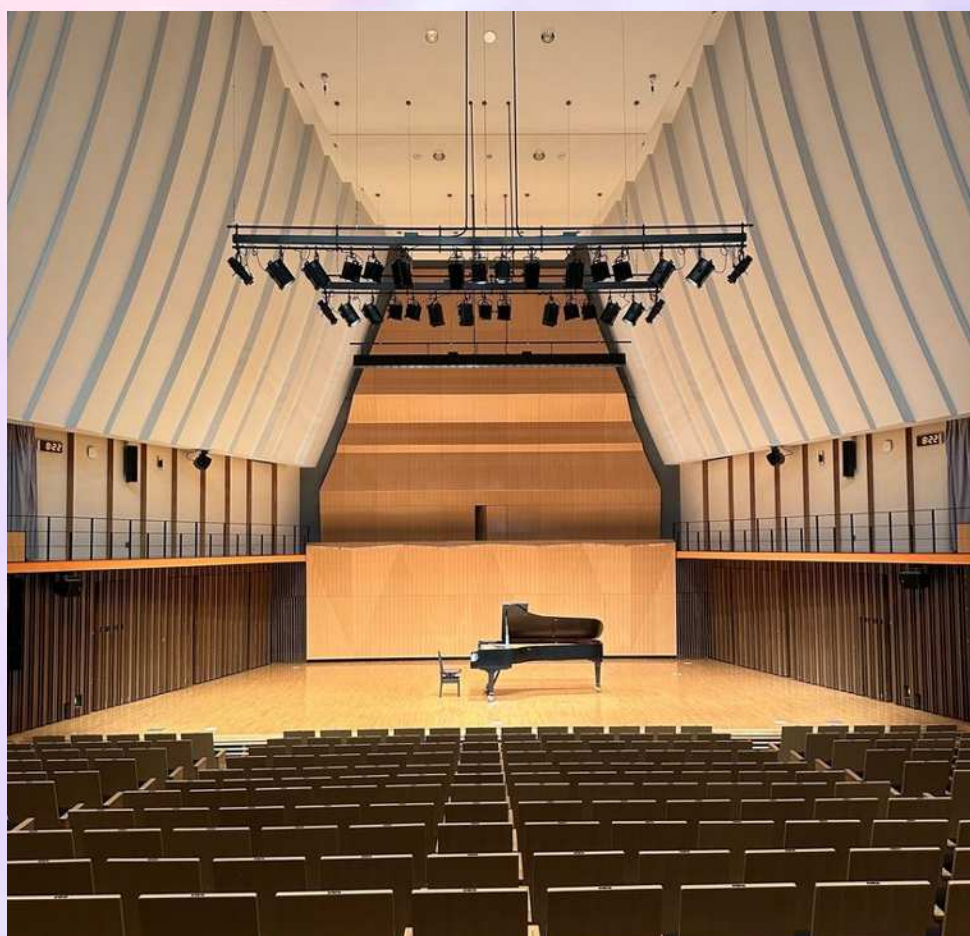


東京都立総合芸術高等学校 音楽科

～音楽で未来をつくる～



ひとりひとりに寄り添う、きめ細かな音楽教育

本校音楽科では、将来音楽の道を志す生徒はもちろん、音楽を深く学びたいすべての生徒に向けて、専門性の高い個人レッスンと少人数制のクラス授業を軸にした指導を行っています。



～専門教員・講師による マンツーマンレッスン～

- 各専攻（声楽・器楽・作曲・楽理）に応じて、第一線で活躍する講師陣が個別に指導します。
- 一人ひとりのレベルや目標に応じたレッスンで、確かな技術と音楽性を育てます。

～習熟度別クラスで“わかる”を実感～

- 音楽理論やソルフェージュの授業は、少人数・レベル別にクラスを編成しています。
- 生徒それぞれに合ったペースで、基礎から応用まで着実に学べます。



～公開レッスンで広がる学びの視点～

- 学内外から講師を招いた公開レッスンをほぼ毎月開催しています。
- 他の生徒のレッスンを聴講することで、演奏に対する多角的な視点と深い気づきを得られます。



(上)本田聖嗣氏によるピアノ公開レッスン
(下)萩原みか氏による声楽公開レッスン



ギグラ・カツアラヴァ氏によるピアノ公開レッスン&レクチャー



昨年度の合奏公開特別授業の様子

～ アンサンブルで育てる協調性と音楽性～

- ・オーケストラや合唱の授業では、大人数でのアンサンブルを通して、音楽を「合わせる」「聴き合う」力を磨きます。
- ・一体感のある響きを体験しながら、仲間との絆や演奏の喜びを実感できる場です。



昨年度の合唱公開特別授業の様子

演奏会で実力を発揮する舞台を

年間を通じて行われる演奏会では、日頃の努力の成果を発表します。
人前での演奏経験が、表現力・自信・責任感を育みます。



発表演奏会

4月のオーディションで選抜された生徒が、6月に東京文化会館で演奏を披露します。音楽科の一大イベントとして、多くの生徒がこの舞台を目指して1年かけて練習に励んでいます。



授業発表会

2・3年次生によるアンサンブル授業の成果発表として開催される演奏会です。2台ピアノをはじめ、さまざまな編成によるアンサンブル演奏が披露され、日々の学びの成果が音となって響きます。



2年次コンサート/卒業演奏会

2年次コンサートと卒業演奏会は、各年次全員が出演するソロ演奏の場です。作曲専攻生は自作曲を発表し、個性豊かな表現を披露します。さらに卒業演奏会では、楽理専攻生による研究論文の発表も行われ、各専攻がそれぞれの成果を発表する集大成の機会となっています。日々の研鑽が結実する、音楽科ならではの特別な演奏会です。



旧前田邸サロンコンサート

目黒区駒場の旧前田家本邸洋館にて、年3回サロンコンサートを開催します。国指定重要文化財である歴史的建造物と四季折々の自然に包まれた会場で、地域の方々に音楽をお届けしています。



モーニングコンサート

本校エントランスには、世界的にも希少なピアノ「ベーゼンドルファー・インペリアル」が置かれています。毎週火曜の朝にはモーニングコンサートも行われ、その豊かな音色が生徒を迎えます。

音楽科の一日 ～音楽に向き合う、かけがえのない日々～



7:30 から朝練をします。集中力の高まる朝の時間帯に専攻実技とじっくり向き合い、確かな成長を積み重ねます。



限られた時間で多くを吸収するため、1分たりとも無駄にせず専攻レッスンに臨みます。



音楽史では作曲家や時代背景を学び、知識を深めることで、演奏により厚みと説得力をもたらします。



お弁当を食べながら文化祭の打合せをしています。放課後の練習に備え、昼休みも工夫して時間を使っています。



ソルフェージュで音楽の基礎力を養い、表現の力を高めています。



放課後も仲間と音を重ね、互いに高め合う時間です。アンサンブルの楽しさと難しさを実感しています。

音楽で地域社会とつながる

コンサートホールを飛び出し、地域でも演奏活動を行っています。クラシックに限らず、さまざまなジャンルの音楽で、お客さまの笑顔や拍手に触れられる貴重な機会です。反応がダイレクトに伝わるからこそ、演奏の手応えを実感でき、学びも深まります。



有楽町フリーライブ

有楽町・東京交通会館1階で定期的にフリーライブを開催しています。告知なしの“ゲリラ演奏”ながら、毎回多くの方が足を止め、音楽に耳を傾けてくださいます。街に響く生の音が、心をつなぐひとときとなっています。



有楽祭

(東京交通会館名店会主催)

地下にある“有楽ピアノ”での連弾や、イベントスペースでのアンサンブル演奏が毎回好評をいただいています。地域の皆さまと音楽でつながる貴重な機会となっています。



東京ガス管弦楽団 クリスマスコンサート

東京ガス管弦楽団のクリスマスコンサートに出演させていただきました。ヴァイオリン2名とピアノによる「くるみ割り人形」を披露し、サンタ帽をかぶって楽しい雰囲気を出しました。会場には温かな拍手が響きました。



クリスマスコンサート

講堂棟ホールにて、ハルモニア・アンサンブルと1年生有志によるクリスマスコンサートを開催しました。保育園の子どもたちからご年配の方々まで幅広い世代が来場し、音楽を通じた交流の場となりました。こうした演奏会を通して、クラシック音楽の楽しさと奥深さをより多くの方々に伝え、その魅力のすそ野を広げていきたいと願っています。

高校卒業のその先へ

音楽科では、卒業生や学外の専門家を講師に招き、進路懇談会やキャリアガイダンスを定期的に行っています。講師として登場した卒業生が演奏を披露する機会もあり、在校生にとっては先輩の音楽や言葉から、自分の将来像を具体的に描く貴重なきっかけとなっています。大学進学をゴールとせず、一人の「音楽家」としてどう生きていくかを主体的に考える力を育みます。



各地で活躍する卒業生



三河 慶史郎さん（2期）

東京藝術大学を卒業後チェコに留学し、プラハ芸術アカデミー修士課程を修了しました。その後ブルノ国立歌劇場のオーケストラ奏者(tutti)として、オペラやバレエの公演を演奏しています。プラハで、毎月ご近所コンサートというサロンコンサートを開催して、4年目に突入しました。

総芸では何でも地道に頑張ること、同時に新しいことに挑戦することを学びました。当時の同級生と知り合ってからもう14年も経ちますが、音楽の分野でも違う分野でも活躍している人がいて、彼等から刺激をもらっています。



木野知 美咲さん（4期）

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻に進学し、現在はNHK交響楽団のライブラリのアシスタントとして仕事をしています。

ライブラリとはオーケストラの楽譜を管理しているところです。仕事の内容は演奏会の楽譜を用意し、演奏ができる状態にすること。例えば、古い楽譜の補修やミสปリントの修正なども行っています。

特にこの仕事ではスコア(指揮者用の楽譜)を見る機会が多いので、総芸のソルフェージュの授業で行われたクレ読みは、大変でしたが役に立っています。他には楽典の知識なども役に立っています。



田中 莉紅さん（8期）

国立音楽大学ピアノ科を卒業。大学時にコース制度を利用し音楽療法を学びました。現在は、音楽療法、ピアノ・ソルフェージュ講師、福祉施設での演奏、幼稚園での音楽レク活動などを行っています。

総芸時代に友人と切磋琢磨しながら成長することができ、卒業した今でも音楽で繋がっていられることが嬉しいです。

また、授業内でも人前に出る事が多かったので、メンタル面が鍛えられました。物怖じせず、とりあえずやってみよう！と考えられるようになりました。



橋沼 黎さん（8期）

東京音楽大学を卒業後、現在はベルリンに在住し、バレンボイム・サイド・アカデミーへの留学準備を進めております。このアカデミーは、中東での紛争に対し、音楽と人文学の教育を軸に専門的なスキルを磨く場所です。アカデミーの理念に深く共感した、Sir András Schiff先生とSchaghajegh Nosrati先生のもとで学びを深めています。このアカデミーの空気は、どこか総芸と通じており、楽器の隔たりなく仲間同士でスキルを磨く環境が自然と根付いているように感じます。また、総芸の音楽だけではなく芸術に触れることのできる環境も、私に多角的な視野を与えてくれました。



鎌田 紗綾さん（11期）

現在、昭和音楽大学ピアノ演奏家コース3年に特待生として在籍し、毎年国際コンクールやコンサート出演などで様々なステージ経験を積ませて頂いております。

総芸時代もオーディションやストリートピアノイベントなど人前で演奏する機会が多く、技術的なスキルだけでなく体力やメンタル面の準備の仕方など勉強させて頂きました。

今後もここでの経験を活かして精力的に活動し、聴いてくださる皆様の記憶に残るピアニストとなるように日々精進していきたいです。

Q&A

よくある質問

Q 音楽科を選んだきっかけは？

A 中学生のときに聴いた先輩の演奏にすごく感動して、「私もこんなふうに音楽を表現できるようになりたい」と思ったのがきっかけです。音楽を本格的に学べる環境に憧れていました。

Q 学校の練習環境は整っていますか？

A レッスン室にはグランドピアノが基本的に2台あります。予約をすれば、早朝や放課後にも自由に練習することができます。

Q 音楽科の雰囲気を一言で言うと？

A あたたかくて、集中できる場所。みんながそれぞれの目標に向かって努力していて、刺激をもらえる環境です。

Q 入学前に学校を体験できる機会はありますか？

A 毎年7月に中学生向けの体験入学を実施しています。さらに、10月と11月には小学生向けの体験入学もあり、早い段階から本校の雰囲気を感じることができます。

Q みんな1日何時間くらい練習してるの？

A 楽器によって違いますが、ピアノ専攻生は平日は平均3~5時間、休日は8~10くらい練習している人もたくさんいます！



演奏会や公開レッスンのお知らせなどは、本校HPに随時掲載しています。

また、音楽科の日常は、公式Instagramにも定期的に掲載しています。

東京都立総合芸術高等学校

東京都新宿区富久町22-1
03-3354-5288

HPはこちらから



公式Instagramはこちらから

